

「地域が育てる・ふるさと笠郷を創造する！」

# 「笠郷地域創生自治町民会議」だより

ふれあい遊びの会、防災ワークショップ等

笠郷地域創生自治町民会議会長 大橋 徳法

## 1. 地域のご年配者と一緒に『ふれあい遊びの会』を船附こども園で開催。

(健康・福祉部会)

新年間もない、1月9日(水)に地域のご年配者に参加して頂き、園児との交流会『ふれあい遊びの会』を開催しました。これはお孫さんがこども園にいないに関わらず、ご年配の皆さんと園児との交流を目指した企画で、船附こども園では今回が初回になります。「ゆず養老」のホームの方も含め、笠郷全域から25名の参加がありました。

会の最初に子供たちが、自分で点ててくれた抹茶をはにかみながら「抹茶をどうぞ」と席まで運んでくれおいしく頂きました。抹茶を飲んで休憩の後は、いくつかの

グループに分かれて、コマ回し、羽子板、福笑い、メンコ、あやとり、おはじき、



けん玉等の正月や昔の遊びをしました。グループを移動しながら、園児たちと遊ぶことによってコミュニケーションもとれ、元気な子供たちと一緒に遊んで若さを取り戻しました。最後に園児たちが作ったお土産とお菓子をもらって、ハイタッチをしてお別れしてきました。年配の皆さん、子供たちと交流して元気と若さを取り戻しましょう。



## 2. 岐阜大学より防災専門家を講師に招いて『笠郷地区防災ワークショップ』を開催。

(安全・安心部会)

1月20日(日)岐阜大学地域減災研究センター 特任准教授 村岡 治道 様を講師にお招きし笠郷地区水害被害に対する防災ワークショップを開催しました。

最初に「安全な場所はどこか? 孤立しない避難先は? 車も避難させますか?」の質問がありましたが、笠郷地区住民にとって回答することは非常に困難だと再認識させられます。(最悪の場合、2・3階、へ垂直避難して救助を待つ方法が有る)

避難時期は、『安全なうちに避難』が先生の結論です。

- ① .雨・風が強くなる前
- ② .暗くなる前
- ③ .道路冠水等被害の前

被害発生後に避難するのは避難ではない ⇒ 脱出

(時間雨量は 20mm、風速は 20m/s を超えると屋外は

危険、深夜大雨時の脱出は不可能、被害後の脱出も危険です。早目の避難が大切です。)

避難時の携帯品は、①充電器(電池)、②懐中電灯、③携帯ラジオ(TV)、④簡易トイレ、⑤救急用品(絆創膏、マスク、常備薬等)、⑥歯ブラシ、⑦ビニール袋、⑧ラップ、⑨ティッシュ、⑩タオル、⑪敷物(シート)、⑫軍手、⑬ライター、⑭筆記用具、⑮水、⑯食料品、⑰着替え衣類、等をすぐまとめて持ち出せるように準備しておく事です。

現在笠郷自治町民会議では区長、副区長を主要メンバーにして「各地区緊急連絡網」と「笠郷地区水害ハザードマップ」の作成を目指していますが、課題の重複点が多数あるため皆さん懸命に取り組んでおられました。

## 3. 下笠こども園「三世代交流会」案内 お年寄りの皆さん、園児たちと一緒に遊びませんか (健康・福祉部会)

下笠保育園では、ご年配者との交流会を計画しています。園児と楽しく遊んで元気をもらいましょう。

日時 : 平成31年3月6日(水) 午前10時 ~ 11時30分

場所 : 下笠保育園(2階遊戯室、各教室、園庭)

対象者 : 笠郷地域のご年配者 (案内チラシでお申し込み、またはご連絡下さい。)

連絡先 : 下笠保育園(35-2128)、または笠郷地域創生自治町民会議(36-0006)まで

## 4. 「笠郷地域創生自治町民会議」のホームページをオープンしています。

(総務部会)

開設して間もないため、検索サイトで直接アドレスラインに『kasagou.jp』と入力願います。より良いものにしてゆきたいと考えていますが、皆さんのご意見欄がまだ無いため直接電話でお聞かせください。